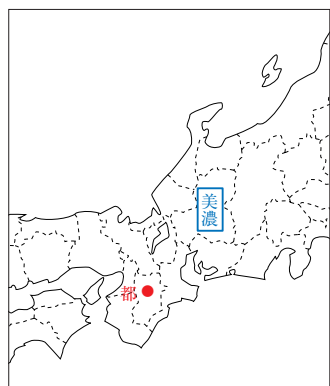




怪力皇子「小碓命」

日本の国を統一しようとしていた
第十二代の景行天皇さまには、
たくさんのお子さんがおりました。
その中に大碓命と小碓命という双子
の兄弟がおりました。二人の名前は、
難産に苦しむ皇后さまを思いやり、
天皇さまが重い白を背負って産屋の
まわりをぐるぐる回っておられたこ
とから付けられました。

ある時、美濃国（岐阜県）にとて
も美しい姉妹がいると聞いた天皇さ
まは、兄の大碓命に、その姉妹を
宮中に召し連れてくるよう言いつ
けられました。ところが、大碓命は
その姉妹と結婚してしまつて、別の
姉妹をさし出し、食事の時も天皇さ
ま顔と顔を合わせないようにしまし
た。

うそを知つた天皇さまは、弟の小
碓命に、「食事の時はきちんと顔を
出すよう、お前から兄さんによく話
しなさい。」と言われました。

それから五日たつても大碓命が顔
を見せないで、どうしているのか
と尋ねられた小碓命は、「朝早く兄
さん待ち伏せして、つかみあげた
ら、力が入りすぎて潰れてしまいま
した。」と答え、天皇さまをたいへ
ん驚かせました。

考えてみよう

○苦勞を共にする

○いっしょに食事ができる

○力みすぎない